



平成 30 年 5 月 18 日

## 平成原爆焼を制作します

日時：粘土形成作業 5月21日（月）～25（金） 13:00～15:00

：絵付け作業 6月25日（月）～29（金） 13:00～15:00

場所：舟入むつみ園（2階ホール）広島市中区舟入幸町 14-11

広島原爆養護ホーム舟入むつみ園にて、平成原爆焼の制作（通算第三回）を行いますのでご案内します。「平成原爆焼」の企画は、被爆体験を語りたくても、経験を言葉に出すことが困難な被爆者が多い現状から、様々な形式での記憶の継承活動として考案され、平成 29 年から制作を実施しているものです。

（※ 素材として西条の粘土、元安川の砂利、似島の砂利、を使用しています。）

むつみ園の被爆者の方々は毎回 20 人ほどが作業を行います。本学からは学生ならびに留学生が参加し（5 月 21 日は、学生等は参加しません。それ以外の日は、毎回 10 人程度が参加。）被爆者の方々と一緒に作業をします。補助が必要な方もおられますので、その際にはむつみ園の介護士のご指導のもと、お手伝いをしながら制作します。

本企画は、平和を希求する精神を具体的に形に残して後世に伝える作品を制作することと、「本学学生・留学生は被爆者の方々に実際に接することで自分の祖父母と同じ世代である目の前の方々が、73 年前に原爆の惨禍を経験させられることとなった、被爆時とその後の人生に思いを巡らせ、平和の尊さを再認識し平和を希求する精神を涵養する機会とする」ことを目的としています。

- ・むつみ園の方々はデイサービス利用者で曜日ごとに入れ替わります（毎回約 20 人が参加）
- ・当日、被爆体験講話の時間は設けておりません。

なお、各曜日の作業終了時には、一緒に作業をした被爆者の方々と記念撮影を行います。

※ 砂利の採取に際しましては関係省庁、地権者の許可を取得致しております。



平成 29 年 9 月に実施した平成原爆焼第二回制作時の様子

#### <参考>

広島原爆養護ホーム舟入むつみ園は、外部からの慰問・視察・平和学習などで年間に約 1,000 人の訪問者が訪れており、平和交流、平和発信の場としても重要な機能を有しております。

本学とは平成 27 年 8 月 6 日に本学で実施された被爆 70 年祈念平和企画「チェコ共和国への産業奨励館破片「デンティル」の寄贈式典」に際し、チェコ発送前に対面式を実施して頂き、その後も「平成原爆焼」の陶器及び看板制作協働作業やウィーン国立音楽大学と本学からの音楽慰問訪問受入れをしていただいています。また、平成 29 年には、「平和と自由の鳩」の制作協働作業と寄贈、施設見学会や平和学習受入れ等に多大な御協力を頂いております。

【協力 広島大学平和センター】

#### 【お問い合わせ先】

広島大学国際室国際部 国際交流グループ 担当：嘉陽礼文 TEL：090-1185-1620 FAX：082-424-4545
---

発信枚数：A4版 3枚（本票含む）

(別紙)

【FAX返信用紙】

FAX：082-424-6040  
広島大学財務・総務室広報部広報グループ 行

平成原爆焼を制作します

記

日 時：＜粘土形成作業＞  
5月21日（月）～25日（金）13：00～15：00  
＜絵付け作業＞  
6月25日（月）～29日（金）13：00～15：00  
場 所：広島原爆養護ホーム舟入むつみ園2階ホール  
（広島市中区舟入幸町 14-11）

ご出席（参加希望日： 月 日）  
※ お手数ですが、参加される日を記載願います。

ご欠席

貴 社 名 \_\_\_\_\_

部 署 名 \_\_\_\_\_

ご 芳 名 \_\_\_\_\_（計 名）

電話番号 \_\_\_\_\_

誠に恐れ入りますが、上記にご記入頂き、5月18日（金）17時00分までにご連絡ください。